

◎ポラス、分譲戸建販売が過去最高水準に
—さいたま市の新分譲住宅地も好調見込む

ポラスグループは、分譲戸建て住宅の販売状況が過去最高の水準で推移している。7月は単月の過去最高販売棟数を約40棟上回る317棟（前年同月比51%増）を記録した。8月も前年同月比約5割増となり、9月も同水準になる見込み。

4月は新型コロナウイルスと緊急事態宣言で前年同月比24.6%減だったが、5月以降はすべて前年同月を上回り、4～8月の累計は前年同期比20.4%と大きく伸びた。分譲戸建て住宅市場の好調が追い風となり、ポラスマイホームプラザへのウェブを窓口とした問い合わせ件数は2倍以上に増えた。購入検討者がウェブ情報などから物件候補を絞り込んだ上で問い合わせる傾向が強まったため、成約・引き渡しまでの期間も短くなった。

20年度は引き続き市場の好調が続くとみるが、用地取得や開発はコロナ前の期初計画通りに行う方針。現在の状況は購入計画の前倒しが含まれること、市場が過熱すれば販売価格に反映され既存の路線を保つのが難しくなる可能性がある点などを踏まえる。

このほど1期分10戸（全20戸）の販売を始めた「育実（はぐくみ）の丘・浦和」（さいたま市）はJR浦和駅と南浦和駅から自転車で10分弱の立地。坪単価65万～90万円台（30・28坪プランで3990万円～）で、間取りは小上がりラウンジ、間仕切りできるリビングラウンジ、スキップフロアと吹き抜けによる見晴らしラウンジなど4プランを導入。このほか、玄関直結の大容量収納空間や帰宅後すぐに手洗いや服の収納ができる動線なども採用し、ニューノーマル時代の需要に応える。主に市内の共働き子育て世帯などから、高い反響を得ているとする。